

**令和 8 年度 浮体式洋上風力発電の最適な海上施工方法の確立に向けた技術開発制度
新規採択案件一覧（五十音順）**

技術開発案件名 (概要)	技術開発代表機関 技術開発分担機関	技術開発期間
<u>海上作業基地を活用した施工方法に関する技術開発</u> (概要) 海上作業基地の施工法検証（動揺解析、水理模型実験等）及び施工判断システム開発を行う。	<u>浮体式洋上風力建設システム技術研究組合</u>	令和 8 年度 ～令和 10 年度 (3 年間)
<u>基地港湾利用に適した国産リングリフトクレーン生産システム確立に向けた技術開発</u> (概要) 高張力パイプ鋼の国産クレーンジブ部への採用へ向け、モックアップを用いた実証を行い、設計・製造技術を確立する。	<u>株式会社タダノインフラソリューションズ</u>	令和 8 年度 ～令和 9 年度 (2 年間)
<u>パルスパワー衝撃破碎技術を用いた浮体式洋上風車の海洋底岩盤掘削</u> (概要) パルスパワーの衝撃波を利用した、発破工法と比較して水深の影響を受けず安全な完全非火薬破碎工法を確立する。	<u>戸田建設株式会社、国立大学法人熊本大学</u>	令和 8 年度 ～令和 10 年度 (3 年間)
<u>浮体式洋上風力発電海上施工のための高精度気象・海象予報に基づく作業可否予測システム開発</u> (概要) 実時間の高精度気象・海象・動揺予測に基づいた予報変化発報機能を有する海上作業可否予測システムを構築する。	<u>株式会社気象工学研究所、株式会社環境 GIS 研究所</u>	令和 8 年度 ～令和 10 年度 (3 年間)
<u>浮体式洋上風力発電における繊維ロープを用いた省力化係留施工技術の開発</u> (概要) 合成繊維ロープとチェーンとのハイブリッド係留の施工方法の確立と繊維ロープ海底仮置き時の品質影響評価を行う。	<u>株式会社吉田組、東京製綱繊維ロープ株式会社</u>	令和 8 年度 ～令和 10 年度 (3 年間)
<u>洋上施工を革新する経済的・高性能アンカリング技術の開発</u> (概要) 浮体式洋上風力発電のための高把駐性・高耐震性を備えた経済的な新アンカーの設計法および施工法を確立する。	<u>五洋建設株式会社、国立大学法人東京海洋大学、国立研究開発法人海上・港湾・航空技術研究所</u>	令和 8 年度 ～令和 10 年度 (3 年間)
<u>洋上風力発電における基地港湾利用調整システム構築に関する技術開発</u> (概要) 不確実性下で基地港湾利用を動的に評価し、施工計画と港湾リソース配分を最適化するシステムを構築する。	<u>国立研究開発法人海上・港湾・航空技術研究所、国立大学法人東京海洋大学</u>	令和 8 年度 ～令和 10 年度 (3 年間)